

脚本家・演出家

# 渡辺 和徳

(わたなべ かずのり)



1978年、東京都生まれ。

1999年、北区つかこうへい劇団に7期生として入団。当初は俳優として入団するも、つかこうへいに文才を認められ、氏のもとで作・演出を学ぶ。

2003年、少年隊ミュージカルPLAYZONE「Vacation」で脚本業を開始。同年、北区つかこうへい劇団劇作家・演出家コースの講師に就任。

以降、演劇作品の脚本、演出を数多く手がける。

現在は、多くの舞台の脚本・演出を担当するほか、演技・脚本・演出などの各種ワークショップの講師も行うなど、活動の幅を広げている。

## 児童向けの活動

2016年、しまじろうコンサート「しまじろうとクリスマスのねがいごと」(脚本)

2001年より、北区つかこうへい劇団 児童教室 (現・北区 AKT STAGE 児童ダンス☆演劇教室/東京都北区 共催) の講師を担当。5~12歳の児童を対象にダンス・演劇を教え、発表会の台本も執筆している。

## 主な脚本作品

青山劇場「少年隊 PLAYZONE」(脚本等)

明治座「あずみ」(潤色)

新宿コマ劇場・青山劇場「SAMURAI 7」(脚本)

青山劇場「女信長」(脚本)

明治座「大江戸緋鳥 808」(脚本)

明治座「神州天馬侠」(脚本)

明治座「巴御前」(脚本)

サンシャイン劇場 他「広島に原爆を落とす日」(潤色)

新国立劇場・中劇場「AZUMI 幕末編」(脚本)

新橋演舞場 他「寝盗られ宗介」(潤色)